

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年12月13日

計画の名称	長岡の未来を創造する、魅力あふれるまちづくり（重点計画）											
計画の期間	令和04年度～令和05年度（2年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	長岡市											
計画の目標	長岡市では「都市の活力と魅力にあふれ、安全・安心で住みよいまちの実現」に向け、良好な住まい・まちづくりに取り組んでいる。 中心市街地で暮らす人のニーズに配慮した、安心して生活し続けることの出来る住まいづくりを推進するとともに、 本市が目指すコンパクトで持続可能な都市を実現するため、高度な都市機能や日常生活に必要な基礎的な都市機能の集積により、 活力ある中心市街地を創出する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	10,958	A	10,958	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (R5末)
1	（拠点性の向上）中心市街地内の歩行者通行量を86,170人/日から100,000人/日に増加させる。 中心市街地の平日1日当たりの歩行者通行量	86170人	人	100000人
2	（まちなか居住の推進）中心市街地の居住人口を5,409人のまま維持させる。 中心市街地の居住人口	5409人	人	5409人
3	（利便性の向上）中心市街地内における公益施設の利用者を77,903人/年から120,000人/年に増加させる。 中心市街地内における公益施設の年間利用者人数	77903人	人	120000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
計画期間（全体）：平成29年度から令和5年度まで（7年間）												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	長岡市	間接	独立行政法人 都市再生機構	-	-	大手通坂之上町地区市街地再開発事業	第一種市街地再開発 地区面積1.7ha	長岡市						10,500	2.04	-
	A16-002	住宅	一般	長岡市	間接	民間事業者	-	-	優良建築物等整備事業(大手通界限D地区)	土地整備、共同施設整備	長岡市						277	2.05	-
	A16-003	住宅	一般	長岡市	直接	長岡市	-	-	基本計画等作成等事業(大手通表町東地区)	計画コーディネート	長岡市						27		-
	A16-004	住宅	一般	長岡市	間接	独立行政法人 都市再生機構	-	-	防災・省エネまちづくり緊急促進事業(大手通坂之上町地区)	第一種市街地再開発 地区面積1.7ha	長岡市						154		-
											小計						10,958		
											合計							10,958	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

長岡市社会資本総合整備計画等事業評価監視委員会を開催し、評価に対する妥当性の検証及び今後の社会資本整備方策に関する意見聴取を行った。

事後評価の実施時期

令和6年2月

公表の方法

長岡市ホームページに掲載

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- ・ 中心市街地の歩行者通行量は、平成31年2月の駅前の大型デパートの閉店、令和2年1月以降の新型コロナウイルスの影響で減少傾向に転じたが、本整備計画により整備する施設建築物の一部開業や関連事業の実施により、令和5年度は下げ止まりとなり、回復傾向にある。
- ・ 中心市街地の居住人口について、本整備計画により整備したマンションや、民間によるマンション建設が進んだことで、長岡市全域の人口が減少傾向にある中、中心市街地における居住人口は微増となった。
- ・ 中心市街地内における公益施設の年間利用者人数について、令和2年1月以降の新型コロナウイルスの影響で減少傾向に転じたものの、令和5年度に市街地再開発事により交通結節点である駅に近い地域に機能を集積・更新した効果によって、大きく増加した。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

- ・ 本整備計画により整備する施設建築物の一部完成等によって、平成27年度に比べ令和5年度の中心市街地における休日一日あたりの歩行者通行量は大きく増加した。

特記事項（今後の方針等）

- ・ 大手通坂之上町地区市街地再開発事業を計画どおりに実施することで、核的施設の整備を推進する。
- ・ 民間による施設の建て替え、共同化を促進する。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	中心市街地の平日 1 日当たりの歩行者通行量	
	最終目標値	100000人
	最終実績値	65664人
2	中心市街地の居住人口	
	最終目標値	5409人
	最終実績値	5567人
3	中心市街地内における公益施設の年間利用者人数	
	最終目標値	120000人
	最終実績値	325564人